

社 報



イチローが考える“個”の重要性

完成のはずが

7月の社報で完成間近と伝えました、角締め金物ですが、試用試験を重ねているうちに、改善点が見つかりました。

この改善点を反映するために、試作品を製作して、実用試験を再度やり直すことになりました。良い製品は、なかなか簡単に作れるものではありませんね。



イチロー。言わずと知れたメジャーリーグ史上初の日本人野手です。そのイチローへのインタビュー記事があったので、以下に抜粋します。

働く人、特に会社勤めの人の中には、「自分と組織」の関係に悩む人も多いのではないだろうか。近年は「個の時代」と言われる一方で、「チームのために」働く、「チームが勝てばいい」と考えて働く人も少なくないだろう。

しかし、イチローは、その考えを真っ向から否定する。

「野球は団体競技ですが、個人競技でもある。個人で結果を残せなかったら終わり。だから、個があって集団があると考えるのが自然です」

さらに、プロとアマチュアのの違いについて、イチローは「プロは勝たなきゃ意味がない」と言う人がよくいますが、そんなのは詭弁だ」と断言する。

「たとえ10対0で負けている試合でも、ものすごいプレーを見せればお客さんは喜んでくれる。どんな状況でもファンを意識しプレーする、それが

プロです。『俺はチームのためだけに』なんてさわやかに言っているヤツは、口だけの薄っぺらい人間か、個人では他と戦う能力がないかです」

やり抜くことは才能だというイチローは、生まれながらにしてその才能を持っていたのだろうか。尋ねると、「いやいや」と笑いながらイチローは答えた。

「生まれながらに持っている人間なんて、存在するんでしょうか？」

「実は、『これをやった方がいい』と感ずることは漠然としている場合が多く、それをするのは難しいんです。

だからより明確な、『しない方がいいこと、をしない』を重ねてきました」

「何かにチャレンジする時、怖さや不安はあって当然。でもその感覚を持った上で、同じ世界でも違う道でも、どんどん踏み込んでいってほしい。」

そして、「自分の経験から得たもの、肌感覚で得た教訓は強い」と強調した。

会社がどうであろうと、輝ける”個”を持てる、すごいことです。

当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

整理整頓は仕事の基本

皆さんの職場は片付けが行き届いていますか。職場は普段から、強く意識して整理・整頓を行わないと、いつのまにか散らかってしまいます。

見た目が悪くなるだけでなく、探し物が見つからなくなったり、仕事の効率も悪くなります。

しかし、何より整理・整頓を行う一番

良い点は、モノの整理は意識の整理につながる点です。

モノの整理・整頓を習慣づけることで、意識の整理・整頓ができるようになり、仕事の順序・重要性・取り組むべき課題などが、あきらかになってくると思うのです。

今月も事故がありませんように。

2020年 安全成績

■現場災害 2020.1.1-11.7

休業災害 ----- 0

不休災害 ----- 0

物損災害 ----- 0

その他 ----- 0

合計 ----- 0

■交通災害 2020.1.1-11.7

人身災害 ----- 0

物損災害 ----- 0

合計 ----- 0